ふぁみぃゆだより

第３７号

社会福祉法人瑞穂会
ふぁみぃゆ行田
行田市大字下須戸75番地
TEL 048-559-4165
ふぁみぃゆ東館
行田市大字下須戸65番地1
TEL 048-559-5561
令和６年６月 発行
発行責任者 藤井尚子
http://famille-gyoda.com/

令和６年度入職式を迎えて

ふぁみぃゆ行田　施設長 藤井尚子

桜の開花の便りが聞かれる中、令和６年度のふぁみぃゆ行田・東館合同入職式が執り行われました。

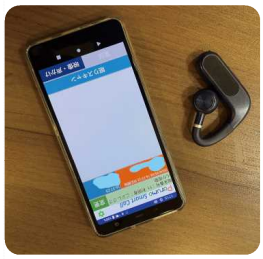
今年度は新卒者２名、ミャンマーからの特定技能実習生４名の合計６名の方をお迎えしました。小嶋理事長の歓迎の挨拶の後、入職者全員から自己紹介とこれからの抱負を明るく元気に語っていただきました。今年入職された新卒のお二人は、小学校や中学校の頃から介護の仕事をしたいと希望されて、念願の介護職になりました。ミャンマーの男性４名の皆さんは、昨年 12 月の入国が叶わず今年の４月となりましたが、国内が政情不安定にもかかわらず、忍耐強くこの日を待って入職していただきました。４名とも心優しい真面目な人柄で、仕事熱心、日本語の勉強も頑張っており、日本人とのコミュニケーションも上手です。

令和６年度は介護報酬改定の年にあたり、重要な柱の一つとして「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」が挙げられています。介護人材不足の中で、更なる介護サービスの質の向上を図るためには、処遇改善と共に生産性向上による職場環境の改善に向けた先進的な取組を推進する必要があります。ふぁみぃゆ行田・東館では、介護職員の処遇改善にいち早く取り組み、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減のために、見守り機器の設置をすすめました。ユニット型のため構造的に連携が難しいふぁみぃゆ行田では、インカムや LINEWORKS 等のコミュニケーションツールを導入しました。今年度は６名の若い力が加わり、労働環境を改善する中でふぁみぃゆの介護力も益々パワーアップしていけるのではと期待しております。

これからも利用者様に生き生きと暮らしていただける様、スタッフ一同力を合わせて邁進して参りますので、地域の皆様、ご家族の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ふぁみぃゆ行田の暮らし

ICT 機器の導入



今年から利用者様の全居室に眠りスキャンと見守りカメラが設置されました。職員用のスマホで離れた場所からも利用者様の安全を確認する事が可能になりました。
またインカムも導入され、他ユニットや専門職とも円滑にコミュニケーションを図ることが出来ます。
今後も ICT（情報通信技術）機器を有効活用し、利用者様の安心安全な生活を支援していきます。

施設ケア課 ICT 活用推進担当　松本星奈

お楽しみスイーツ・ハッピーメニュー

栄養課では日々のメニューに加えて月１回ずつ手作りお楽しみスイーツと調理職員が考案するハッピーメニューをご提供しています。
４月のお楽しみスイーツは濃厚しアチーズケーキを作りました。トッピングにマンゴー、苺、キウイフルーツを乗せ、彩りよく華やかな印象。チーズが濃厚で口の中でふんわりととろけるような食感に仕上がり「ケーキ屋さんの FLO に負けてない」という嬉しい声を頂きました。

ハッピーメニューは海鮮あんかけチャーハンでした。献立立案者が好きな海鮮系を、どういう風に取り入れたら高齢者に食べやすくなるかと悩んだ末に、あんかけにすればパサつかず、まとまるため良いと思ったそうです。
献立は他にワンタンスープ、中華風ポテトサラダ、杏仁豆腐と中華系でまとまった献立になりました。これからも食べることを楽しみにしていただけるようなメニューを取り入れたいと思います。

栄養課長補佐　小澤まゆ美

リハビリ室の取り組み

我先に嫁ぎ先へ向かう車椅子

リハビリ室から要望されていた新しい車いすがようやく届きました。これから順次老朽化している利用者様の車いすと交換していきます。
介護職からよく来る相談の一つは、車いすの相談でした。老朽化して座面がたわんだまま使用していると身体の痛みに繋がったり褥瘡の原因になることもあります。リハビリ室では座面のたわみを段ボールなどで補正したり、背中にクッションを入れたりしながら大切に使ってきましたが、いよいよ入替をすることになりました。サイズが合わない車いすを使用していると姿勢不良となり誤嚥に繋がりやすくなりますので、サイズも大小取り揃え、リクライニングができるものやフットレストや背もたれの調整が可能なものに替えていきます。
これからも利用者様にできるだけ安全で快適に暮らしていただけるよう支援して参ります。

リハビリ室長　三根裕太

LINEWORKS 導入について

職員のその日のスケジュールも一目で分かります。

施設ケア課では職員間のコミュニケーションツールとして「LINEWORKS」を導入しました。
当初はメッセージのやりとりにのみ使用していたため、他のメッセージアプリとの違いがよくわかりませんでしたが、最近ではデータファイルの共有やアンケート等、さまざまな機能を活用するようになり、以前よりも簡便に情報共有に活用できるようになりました。

サービスマナー向上委員会
久保田 美和

ふぁみぃゆ行田バドミントン交流会

普段はユニットが異なるためにあまり関わることのない職員同士が親睦を深めることを目的に、バドミントン交流会を行いました。
施設長はじめ、30 名の職員が参加し、ダブルスのペアを組んでゲーム形式で行いました。職員同士談笑したり、スポーツを通して汗を流すことによりリフレッシュでき、とても楽しく交流する事ができました。　サービスマナー向上委員会　木村 蓮

ふぁみぃゆ行田の暮らし

ショートステイ　まんさくユニット

まんさくユニットでは在宅で生活している方の生活支援をさせて頂いています。
利用者様のやってみたいこと、やりたいことを計画し行っています。この日は施設の庭の桜がきれいに咲いたので花見を行いました。利用者様同士に会話が生まれ新たな出会いがあり職員も見ていてほっこりしました。いつまでも住み慣れた家で生活できるようサポートしていきます。

まんさくユニット　中村心咲

レクリエーション　さざんか・こぶしユニット

さざんかこぶしのユニットでは色々なレクリエーションを行っています。体操や風船を使った遊び、ペットボトルを使ったボウリング遊び、時には利用者様と歌を歌う等、様々な工夫を行い少しでも参加して頂ければと思っています。特に体操は午前、午後に分けて職員と一緒に取り組んでいます。この日はテーブルサッカーを行いましたが、皆様ボールを夢中で追ってあっという間に時間が過ぎました。

さざんかユニット　椎根尚也

ひなあられ作り　こすもすユニット

今年から仲間に加わった藤野ケアワーカーのアイディアで、ひなあられを作りました。おもちを小さく刻み、オーブンで焼いてから、着色料と粉砂糖をまぶして出来上がり！ 粉にまぶす工程では利用者様に袋をフリフリして頂きました。美味しく綺麗にでき、季節を感じることができました。

こすもすユニット　坂本泰代

おやつ作り　すずらんユニット

すずらんユニットではたこ焼き風パンケーキを作り、利用者様に提供しました。
たこ焼き器で丸く焼いたパンケーキにあんこやジャム、生クリーム等を挟みます。利用者様からは「おいしい！」「また食べたい！」と嬉しいお言葉を頂けました。利用者様の笑顔がこれからも見られるように精一杯支援していきたいです。

すずらんユニット　木村 蓮

文化交流　はくれんユニット

私の国ミャンマーで食べているおやつ作りをしました。
ミャンマーではお正月に作るおやつで、モロイーボといいます。白玉の中にココナッツの砂糖を包んだお菓子です。利用者様には甘くてとても美味しいと喜んでいただけました。

はくれんユニット　ミミ ピュ ラッ

おやつ作り　りんどうユニット

ミャンマー出身の職員が母国のおやつを披露してくれました。ミャンマーでは普段から食べているおやつで、ココナッツミルクにタピオカ、蒸したサツマイモを刻んで入れて完成です。日本では馴染みのない物なので始めは「これはなに？」と戸惑う方もいましたが、食べてみると「美味しい」と好評でした。りんどうユニットリーダー　椎根若菜

お花見　ゆりユニット

施設の敷地内にある桜を見に行きました。この日は天気も良く、桜の下で歌を歌ったり、体操をしたり、利用者様と職員共にお花見を満喫することが出来ました。「やっぱり、桜はいいね」「天気もいいし、綺麗だったよ」と利用者様が楽しそうにお話をされてました。

ゆりユニットリーダー　小野田学

日曜大工　さくらユニット

普段は、穏やかに生活をしているN様ですが、職員と一緒に日曜大工「本棚作り」に挑戦しました。昔大工の仕事をしていたそうで「棟梁お願いします」と声を掛けると「おうよ」と真剣に取り組んでくださいました。ていねいに職員に指導もして頂き、楽しく日曜大工をする事ができました。　さくらユニットリーダー　井上翔子

園芸　ききょうユニット

ききょうユニットでは日頃から利用者様に草花の水やりをして頂いています。利用者様がその日の天気を見ながら、水やりの回数も調整してくれます。ご自身で育てた草花に囲まれながら、落ち着いた時間を過ごされる姿を見て、うれしく思います。今後も利用者様と季節に合った植物を育て、四季を感じながら生活をしていきたいです。

ききょう・すずらんサブリーダー　大手葉子

ふぁみぃゆ東館だより

「世話焼き」は「ありがたい」

ふぁみぃゆ東館 館長　野口清美

近年、個人情報やプライバシー保護の問題で地域交流やご近所付き合いが希薄となり隣人の顔も知らない時代に変わってきております。実は私も「監視されている？」と地域を不審に感じた事もありました。そうなんです。地域に「世話焼き」がいたからです。

2021年8月、私の家にコロナが飛び込み、私は濃厚接触者となり自宅待機。庭で洗濯物を干していると「平日なのにどうしたの？車がたくさんあるけど…」と隣人。その頃はコロナ陽性者や濃厚接触者を避ける頃でしたが、正直に「子供がコロナになって…」と思い切って伝えました。「あら…大変ね…」と様子を伺う表情。2時間後には玄関のチャイムが鳴り「買い物へ行けないからお弁当を買ってきたよ」と。また、別の隣人からは「飲み物買ってきたよ」と。玄関先に食べ物・飲み物が沢山置かれ隣人のご厚意に涙が出ました。年齢は離れていますが、普段と違う生活スタイルを感じ、声を掛けてきた「世話焼きさん」でした。コロナ感染に関心もあったと思いますがとても「ありがたい」と感じ、隣人や地域、「世話焼きさん」を大切にしないとと感じた瞬間でした。

今年度ふぁみぃゆ東館では行田市社会福祉協議会と共同主催で「ご近所福祉担い手養成講座」を開催致します。日頃からご近所の方を気にかけ、困りごとを支援している「世話焼きさん」の活動を見える化し、地域作りのヒントを得て、誰もが安心して暮らす事が出来る地域福祉の実現に向けて取り組んでいきたいと思います。

今年8年目のふぁみぃゆ東館。10年目の節目に向けて地域密着型施設の役割を担えるよう進めて参りたいと思いますので、地域の皆様、今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

お花見

古代蓮の里へお花見に行きました。快晴の中桜も満開になり、利用者様も職員も春がきたことを実感しました。５人の利用者様と一緒に行きましたが、１名の利用者様が、前に入所されていた施設の方と偶然出会いました。会えた瞬間「どうしてここにいるの？、偶然とはいえ嬉しいよ！」と感激され涙ぐまれておりました。再開の場面に立ち会え、職員もとても嬉しく感じ、お花見に行けて本当によかったと思いました。

東館特養 介護リーダー　福島ゆかり

新人紹介

４月１日より東館の新しい仲間になりました、シー トウ アウンさんです。ミャンマーからきてくれました。ニコニコして、とても笑顔が素敵な男性です。

日本にきて約１ヵ月で、まだまだ日本語を勉強中ですが、持ち前の笑顔で利用者様とコミュニケーションをとり、少しずつ仕事に慣れていってもらいたいと思います。

東館特養主任　持村由加里

ミャンマーのおやつ作り

東館特養で働いているミャンマー出身のラ ピェイアウンＣＷとシー トウアウンＣＷにミャンマーの「ウディン」という、日本のプリンのようなおやつを作ってもらいました。利用者様に提供する前に、おやつの説明をしてもらい、美味しくいただきました。利用者様からも「美味しかったよ」「プリンみたいだね」と好評でした。次回は、ミャンマーのご飯を作っていただきたいと思います。

東館特養　奥山 富希子

ふぁみぃゆ訪問看護ステーション

現在、ターミナル期にあり、在宅でお看取りしたいという希望に添い、在宅でのお看取りも行っております。住み慣れたご自宅でのお看取りは、ご本人様にとってもご家族様にとってもかけがえのない時間を過ごせるとても貴重なものだと感じています。

行田市は「いきいきと暮らし共に支えあうまちをつくる」という基本理念の元、2024年度が動き出しました。暮らしを支えるサービスとして訪問看護事業も大切な部分を担える一つであると思っております。

５月から、理学療法士も訪問看護のお手伝いをしてくれることとなりました。重症になってからではなく、その前から訪問看護・訪問リハビリが介入することは、誰もが住み慣れ地域でその人らしく最期まで暮らせることに繋がっていきます。私たちはそのお手伝いができるステーションでありたいと思います。

訪問看護ステーション 管理者　奥野しのぶ

ふぁみぃゆ小東風（ここち）だより

２年目のふぁみいゆ農場

夏野菜の収穫に向けて畑に肥料を撒き耕して準備をし、職員が担当制で苗を植えました。昨年好評だったスイカやズッキーニ、ナスも植えてあります。秋に植えた玉ねぎと、花をつけているじゃが芋が実ったら利用者様と収穫してカレー作りをしたいと思っています。今から楽しみです。

小東風介護　飯田道子

今が旬「筍」

小東風利用者様家族より立派な筍を頂きました。利用者様に「筍はどう調理して食べるのが好き？」と尋ねると、「筍ご飯」「煮物」と。各家庭の作り方など話しながら皮をむきあく抜きをして、ふぁみいゆ農場で採れたさやえんどうと一緒に煮物を作り昼食に、美味しく頂きました。

小東風介護リーダー　前田朋子

夫婦円満

仲睦まじいご夫婦が小東風を利用しています。奥様（94 歳）の車椅子をいつも旦那様（99 歳）が押している姿が楽しく印象的です。
昨年の 12 月奥様が発熱し入院、その２週間後旦那様が発熱し入院してしまいました。高齢なので退院は難しいと思われましたが、２月に旦那様が退院、２週間後に奥様が退院しました。長期入院のため２人共日常生活動作（ADL）が低下し車椅子生活になりましたが、天気の良い４月上旬には本館の桜を見ることができました。桜の下で手を取り合っていたお二人の姿がとても微笑ましく見えました。現在は自宅に戻り、家族で過ごす事を目標にリハビリに励んでいます。

小東風介護主任　島﨑かね子

ふぁみぃゆ訪問介護

アセスメントの効力

自立支援に結びついたＭ様 80 代男性のご紹介です。
サービス提供時、Ｍ様からゴミが重く、出すのに困っているとお話がありました。
近所までの短距離であればシニアカーで移動が出来るＭ様。ゴミ出しもヘルパーと一緒であれば出来るのでは？ と職員間でアセスメント（利用者様の現状を把握し分析する）を行い、ケアマネジャーに提案し今年４月から週に１回一緒にゴミ出し開始となりました。初日Ｍ様から「外に出ると気持ちが良いね、燃えないゴミは自分で持つよ」とお言葉が聞かれました。
ふぁみぃゆ訪問介護は利用者様の出来る力の発見、やる気を見出す声掛けを提案し、工夫し合っています。今後も職員一丸となって利用者様の暮らしを支える事業所でありたいと思います。

訪問介護サービス提供責任者　蛭間理恵

地域包括支援センターふぁみぃゆ

介護保険制度改正により変わること、変わらないこと

2024 年度の介護保険制度改正は、団塊の世代が後期高齢者となる「2025 年問題」に向け、現代の日本が抱えている介護需要の増大や介護人材不足の深刻化に呼応したものとなりました。
包括では次の４つの視点

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進
2. 自立支援・重度化防止に向けた対応
3. 良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり
4. 制度の安定性・持続性の確保

を念頭に置き、これからも地域の皆様にお役に立てるよう努めて参ります。
毎月行っているオレンジカフェ（はあとカフェ）はお陰様で男性の参加者も増えています。
これからも、気軽に立ち寄れる「集いの場」の提供をしていきたいと思います。

地域包括支援センターふぁみぃゆ
管理者　小沢めぐみ

はぁとカフェで植えた木

ふぁみぃゆデイサービスの暮らし

桜と藤のお花見

デイサービスでは行田さきたま古墳公園まで桜を見に行きました。桜は満開を過ぎていましたが、風に舞う桜の花吹雪を浴びながら、たまたまお花見に来ていた方のハーモニカ生演奏を皆様と楽しみました。

また、羽生の大天白まで藤の花見学に行きました。お天気も良く、紫や白の藤はちょうど見頃で、藤の良い香りを楽しみました。

これからも外出を通して季節の移ろいを感じながら楽しく活動してまいります。

デイサービス介護職員　櫻井和美

リハビリとお花見

デイサービスでは、歩行練習に力を入れて取り組んでいます。日々のリハビリのほか、レクリエーションに施設内歩行や筋力アップトレーニングを取り入れ、楽しみながら歩行能力向上に繋がるように心掛けています。

４月上旬には練習の成果を発揮し、さきたま古墳へお花見ツアーに行きました。散策中には利用者様から「桜をみながら散歩するのは気持ちがいいね」とお声を頂きました。その表情はとてもイキイキと自信に満ちており、私たちも元気をもらいました。これからもよりよいリハビリを提供できるように頑張ります。　　デイサービス　秋間翔太

ふぁみぃゆケアプランセンター

居宅介護支援事業報酬改定について

いつもお世話になっております。ふぁみぃゆケアプランセンターの河野と申します。

令和６年４月より介護保険の報酬改定が行われました。基本報酬がアップしているサービスが多くなっております。詳細は次回紹介出来ればと思っています。ケアマネが担当できる利用者様が、以前は 35 名未満の上限となっておりましたが、今回の報酬改定で 45 件未満となりました。2025 年から 2040 年頃まで介護が必要な方の人数が右肩上がりになると言われております。受け持ち件数が増えたことも有り、今後も地域のお役に立てるよう頑張って行きたいと思います。

ふぁみぃゆケアプランセンター 河野真也

友近８９０（ともちか やっくん）来園

令和６年５月７日（火）、数年越しの念願が叶い「書道家」であり「シンガーソングライター」でもある「友近８９０（ともちか やっくん）」がふぁみぃゆ行田にて“笑顔届ける施設 LIVE”を行ってくださいました。

LIVE では、友近８９０が亡くなられたお母様を想って作られたという『生きてゆく（お母さんに贈る歌）』という曲を、涙を流しながら聞いていらっしゃる利用者様がいたり、手話をしながら歌う友近８９０を真似して手話をされる利用者様がいたりと、泣いたり笑ったり、コロナ禍中はなかなか味わうことが出来なかった貴重なひと時を過ごすことが出来ました。

生活相談室ケアマネジャー　喜多村美紀

鉄剣マラソンへの挑戦

４月８日、私の発案で健康増進を目標に職員有志３名と以前から走り込みをされていた施設長をお誘いして、４年ぶりに行われた「鉄剣マラソン」に参加しました。

日々の業務の合間を縫って、各自が個別に練習し、自身の限界に挑んできた努力が実を結び、全員が見事 10 ㎞を完走。会場や沿道に集まった方々からの温かい応援に支えられ、満開の桜の中、青空と心地よい風の下で走りきりました。ゴールを越えた瞬間、喜びに満ちた笑顔が広がり、共に励まし合いながら走り抜いたことで、職員同士の絆が一層深まりました。

完走後は、忍城おもてなし甲冑隊との記念撮影を楽しみ、特別な思い出を共有しました。この素晴らしい経験が、私たちの日々の業務に新たな活力をもたらし、更なる挑戦に向けて私たちを奮い立たせます。来年も大切な仲間と新たな感動を分かち合いたいと願っております。　　ふぁみぃゆ行田副施設長　近藤慶一

ふぁみぃゆ文芸

俳句

清明に侘助の花通学路
山銅幸男

雨蛙田んぼは緑ゲーロゲロ
岩上タツコ

ふぁみぃゆの庭はきれいな芝桜
金子金造

こいのぼり天井に吊るした敬老会
藤間澄子

緑風に吹かれてあおぐ我仲間
浅野賀津子

つつうらら蛙顔出しケロケロと
境野マチ子

目の前をスマートに飛んで行く初つばめ
寺井房子

わが家の赤白色のハナミズキ
武藤八重子

満開の桜の次は花いかだ
近藤栄

歯科健診終へて青田の耀へる
柴崎泰治

ひとり身の不自由もあり彼岸花
杉田すみ

薫風にのせし土笛池の端
松井美枝子

つばくらめ飛来途絶えて梁昏し
小嶋悦雄

夏の香と甘いリキュールあわい青
小沢めぐみ

薫風に誘われひとり露天風呂
小澤まゆ美

ほがらかな光つつまれ春の風
平社伊津代

お昼寝の幼き頬にうちわ風
斉藤輝子

ハナミズキそろそろ終わり青き葉に
鈴木愛里香

花散らし列なす人の傘の華
篠崎則子

テーブルに青紅葉（もみじ）映して瑠璃光院
藤井尚子

座卓の天板に映り込む植栽

短歌

花みずき広重ブルー映えて咲き
出逢いし友よ星とかがやく
中里えり子

春が来たホールに響く歌声が
だんだん大きく大合唱に
杉山嘉子

子等が待つ色どり豊かな弁当は
ボランティア作る童話弁当
竹内悦子

我が憂い首をかしげて受け止めて
飼い犬は澄んだ瞳を返す
小嶋敏子

地域交流館 サロン柿の木

さらなる交流の場となるように！

ふぁみぃゆの周囲では田植期を迎え、耕耘機が忙しく動いています。梅っこ農園ではボランティアさんのご協力により、剪定、施肥、消毒などを行い、今年は格別良い梅が実りました。5月25日から梅狩りを楽しんでいただく予定です。

柿の木子ども食堂は「子どもの居場所つくり」に重点を置く子ども参加型に戻りました。お料理作りを楽しむお子さんの笑顔があふれています。また、県の子育て支援策に応えて4月より「フードパントリー」や太田保育園主催の「柿の実カフェ」（赤ちゃんから就学前、就学後まで子育てを支援する取り組み）も始まりました。将棋デーやモラ刺繍講座も楽しそうです。サロンが地域の皆さまにとって楽しい交流の場となりますよう努めて参りたいと思います。

サロン柿の木 運営委員長　杉田すみ

子育て支援フードパントリー

サロン柿の木では、4月から埼玉県の子育て支援策に呼応して、「フードパントリー」が始まりました。

頑張って子育てをされているご家庭を対象に、会社や事業主様から寄付された食品等を随時お配りし、応援することが目的です。お子さんを3人以上育てているご家庭又は一人親家庭、その他支援が必要な方々を対象として登録していただいています。

日本では、子どもの出生数が年々減少しています。子育てをみんなで応援して、子どもまん中の活力のある社会を取り戻しましょう。

地域の皆さまにお願い！

畑でキャベツやジャガイモが多く収穫できたので余っている、お米が余りそうだ、などありましたら寄付していただけないでしょうか。サロンに於いて上記のご家庭にお配りさせていただきたいと思います。

フードパントリーにご寄付いただいた方々

品　名	寄贈者
白米	行田農協様
焼き豆腐バー	（株）アサヒコ様
ラングドシャ	（株）ポケモン様
白米ともち米	長谷川農園様
白米	（元行田市長）工藤様
長期保存水	（株）クロレラ食品ハック様
冷凍豚肉	（株）ニチレイフレッシュ様 （株）ねぎしフード様

「美味しいものをたくさんいただいて嬉しいです！」と喜びの声が聞かれます。ありがとうございました。

梅っ子農園

今年も5月25日よりうめ狩りを実施します。いつもボランティアでご参加の皆さまに感謝いたします。

地域交流館サロン柿の木来館者数 令和5年4月～令和6年3月

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
229	287	306	283	177	246	294
11月	12月	1月	2月	3月	合計	
226	170	273	274	300	3064	

サロン柿の木 活動スナップ

はちまんマルシェ出店

モラ刺繍
仕上げた時の嬉しさは格別。あなたも始めませんか？

和やかな将棋デー
毎月第2・第4（日曜日）
お仲間募集中！

子ども食堂でロールサンドイッチ作り

子ども食堂ボランティアの皆さん

百歳体操
健康志向の旺盛な地域の皆さま。3年前に行田市の肝入りで始まった「百歳体操」は、自主グループになってしっかり続いています。

柿の実カフェ
（ベビーマッサージ）

子ども食堂に参加して

子ども食堂との出会いは知人からのお声掛けでした。一時コロナ感染拡大により活動が停止してしまいましたが再開することが出来てホッとしております。ボランティアさんたちはメニューを見ると各自出来るところから作り始めて短時間でお料理が並びます。少しでも彩りよく美味しくとお弁当作りに頑張っています。子どもたちの「ありがとう」はとても嬉しく励みになります。一段落ついてからは「来月のメニューは？お料理方法は？」など楽しい話し合いの場になります。4月からは子どもたちが調理に参加する形になりました。安全に配慮しながら楽しくお料理作りをしたいと思っています。

仕事を終えて自分の時間が持てるようになって、少しでも地域のお子さまのお役に立てることが出来て幸せです。

サロン柿の木協力員　山口恵美子